

【古典文法 接続助詞「ば」識別①】

問、次の文中にある傍線部の助詞の意味を答えなさい。

- ① その先祖を尋ねれば、桓武天皇第五の皇子、一品式部卿葛原親王（平家物語）
- ② とりたてて、はかばかしき後ろ見しなければ、事ある時は、なほよりどころなく心細げなり。（源氏物語）
- ③ あなづりやすき人ならば、のちにとてもやりつべけれど、さすがに心はづかしき人、（枕草子）
- ④ 世々を経て尽きせぬものなれど、これをまことかと尋ねれば、昔ありし家はまれなり。（方丈記）
- ⑤ 用ありて行きたりとも、その事果てなば、とく帰るべし。（徒然草）
- ⑥ 民間の愁ふるところを知らざつしかば、久しからずして、亡じにし者どもなり。（平家物語）
- ⑦ 羽なければ、空をも飛ぶべからず。龍ならばや、雲にも乗らむ。（方丈記）
- ⑧ この道を立てて世にあらむには、仏だによく書き奉らば、百千の家も出て来なむ。（宇治拾遺物語）
- ⑨ 家に至りて、門に入るに、月明ければ、いとよくありさま見ゆ。（土佐日記）
- ⑩ 有明の月のいみじく明かりければ、「顕証にこそありけれ。いかがすべからむ。」と（大鏡）
- ⑪ 雨雲は落ちかかるばかりに暗けれど、久しく住み慣れし里なれば迷ふべうもあらじと、（雨月物語）
- ⑫ 暮らすほどに、四月十余日にもなりぬれば、木の下暗がりもてゆく。（和泉式部日記）
- ⑬ 危き事やあると見て、心にかかる事あらば、その馬を馳すべからず。（徒然草）
- ⑭ 芥川といふ川を率て行きければ、草の上に置きたりける露を、（伊勢物語）
- ⑮ ほどなく魂の憂き身を捨てて、君があたり迷ひ出でなば、結びとめ給へかし。（夢の通ひ路物語）

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

【古典文法 接続助詞「ば」識別①】解答

問、次の文中にある傍線部の助詞の意味を答えなさい。

- ① その先祖を尋ねれば、桓武天皇第五の皇子、一品式部卿葛原親王（平家物語）
- ② とりたてて、はかばかしき後ろ見しなければ、事ある時は、なほよりどころなく心細げなり。（源氏物語）
- ③ あなづりやすき人ならば、のちにとてもやりつべけれど、さすがに心はづかしき人、（枕草子）
- ④ 世々を経て尽きせぬものなれど、これをまことかと尋ねれば、昔ありし家はまれなり。（方丈記）
- ⑤ 用ありて行きたりとも、その事果てなば、とく帰るべし。（徒然草）
- ⑥ 民間の愁ふるところを知らざつしかば、久しからずして、亡じにし者どもなり。（平家物語）
- ⑦ 羽なければ、空をも飛ぶべからず。龍ならばや、雲にも乗らむ。（方丈記）
- ⑧ この道を立てて世にあらむには、仏だによく書き奉らば、百千の家も出て来なむ。（宇治拾遺物語）
- ⑨ 家に至りて、門に入るに、月明ければ、いとよくありさま見ゆ。（土佐日記）
- ⑩ 有明の月のいみじく明かかりければ、「顕証にこそありけれ。いかがすべからむ。」と（大鏡）
- ⑪ 雨雲は落ちかかるばかりに暗けれど、久しく住み慣れし里なれば迷ふべうもあらじと、（雨月物語）
- ⑫ 暮らすほどに、四月十余日にもなりぬれば、木の下暗がりもてゆく。（和泉式部日記）
- ⑬ 危き事やあると見て、心にかかる事あらば、その馬を馳すべからず。（徒然草）
- ⑭ 芥川といふ川を率て行ければ、草の上に置きたりける露を、（伊勢物語）
- ⑮ ほどなく魂の憂き身を捨てて、君があたり迷ひ出でなば、結びとめ給へかし。（夢の通ひ路物語）

① 順接確定条件	② 順接確定条件	③ 順接仮定条件
④ 順接確定条件	⑤ 順接仮定条件	⑥ 順接確定条件
⑦ 順接確定条件	⑧ 順接仮定条件	⑨ 順接確定条件
⑩ 順接確定条件	⑪ 順接確定条件	⑫ 順接確定条件
⑬ 順接仮定条件	⑭ 順接確定条件	⑮ 順接仮定条件